

UDAS インストールマニュアル

UDAS は、THEMIS 衛星データの解析ソフトウェア TDAS のプラグインソフトウェアです。

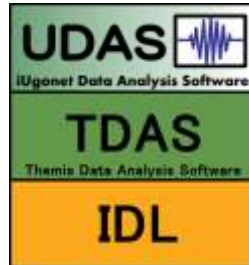


図 1. IDL-TDAS-UDAS の関係図。UDAS は、TDAS ならびに IDL に依存しています。



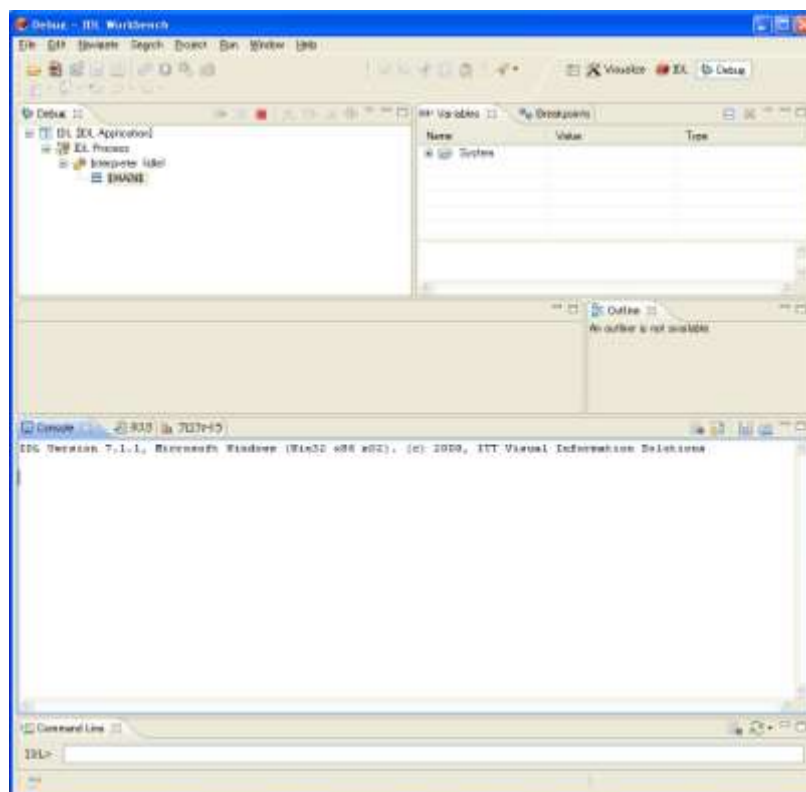
図 2. UDAS インストールまでの流れ。

0. TDAS がインストールされていない場合は、インストールする（付録を参照）。
1. 以下の IUGONET ウェブサイトから、UDAS (udas_x_xx_x.zip) をダウンロードする。
<http://www.iugonet.org/software.html>
2. ダウンロードした zip ファイルを解凍する。
3. udas_x_xx_x を任意の場所にコピーする。
4. 以下に従って、IDL パスを設定する。

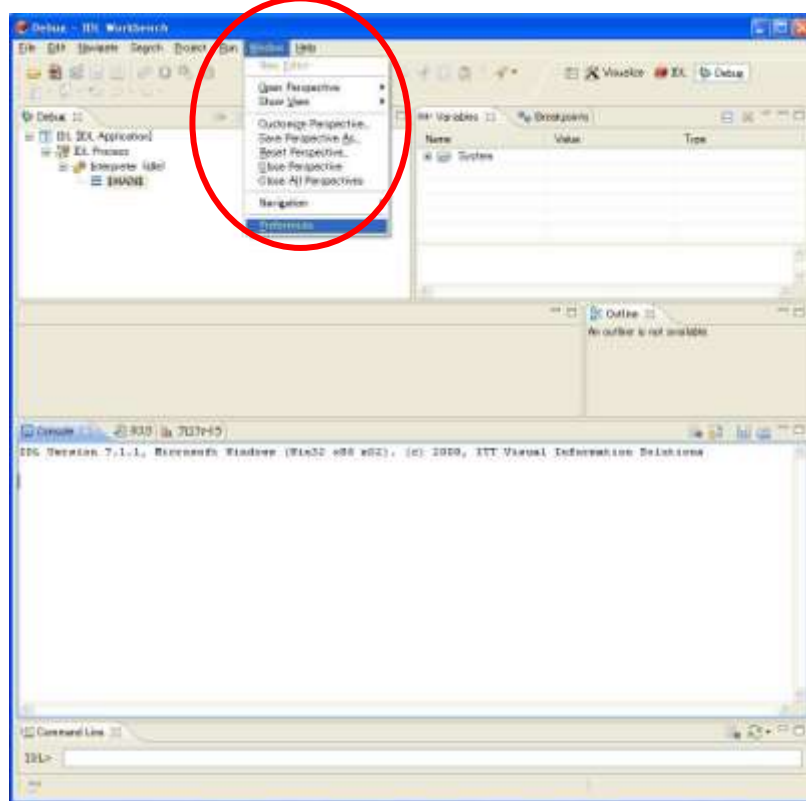
[Windows]

- IDLDE 7.0/7.1

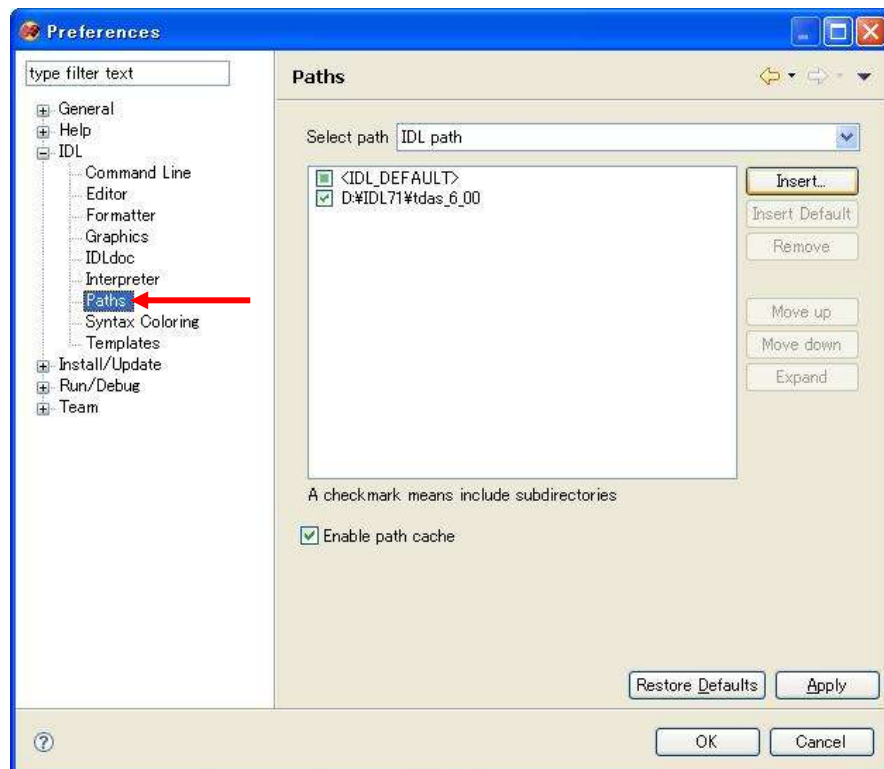
4.1 IDL を起動。



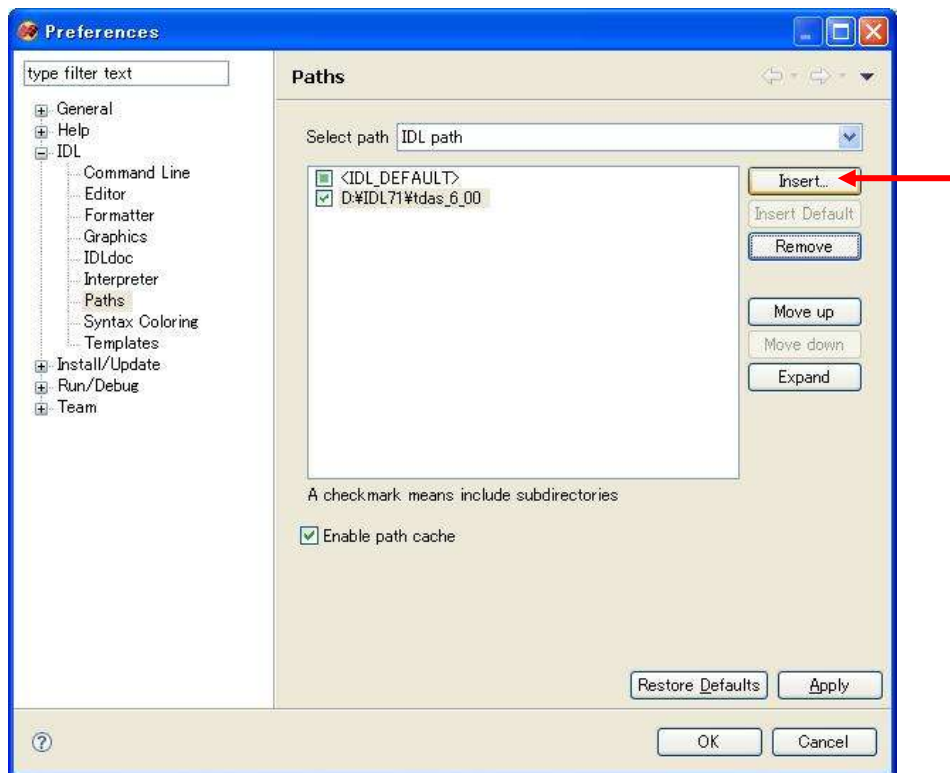
4.2 Window メニューから Preferences を選択。



4.3 IDL → Paths を選択。



4.4 Insert をクリック。



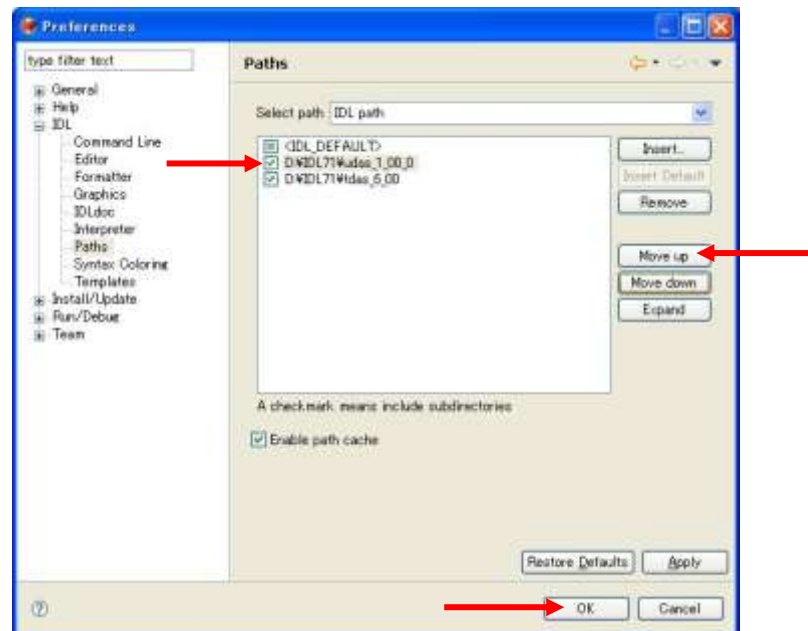
4.5 ダウンロードした UDAS ディレクトリを選択し、OK をクリック。



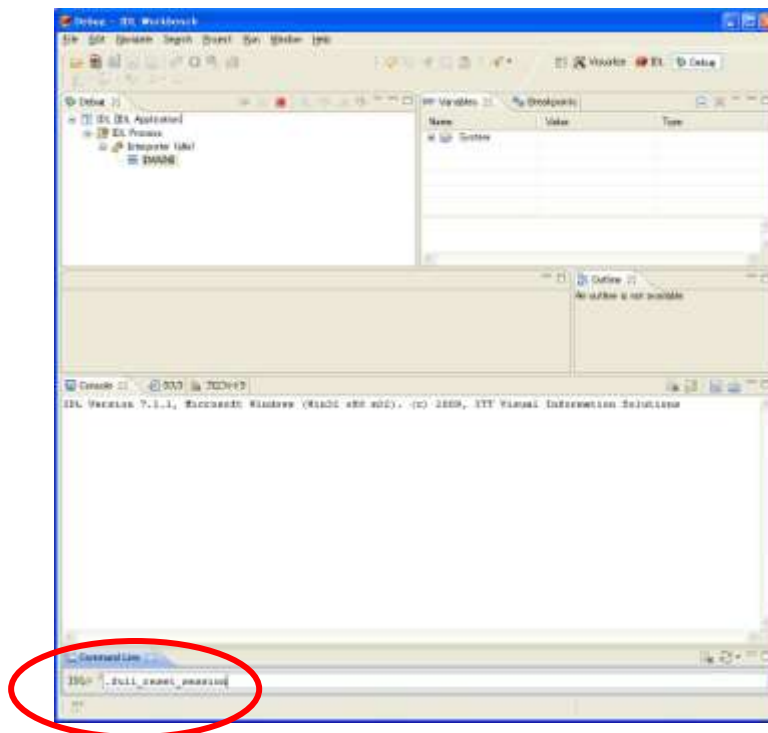
4.6 作成されたディレクトリの左にあるチェックボックスにチェックを入れる。

4.7 右側にある Move up ボタンを押して、UDAS ディレクトリを TDAS ディレクトリの上に持つていく。

4.8 OK をクリック。

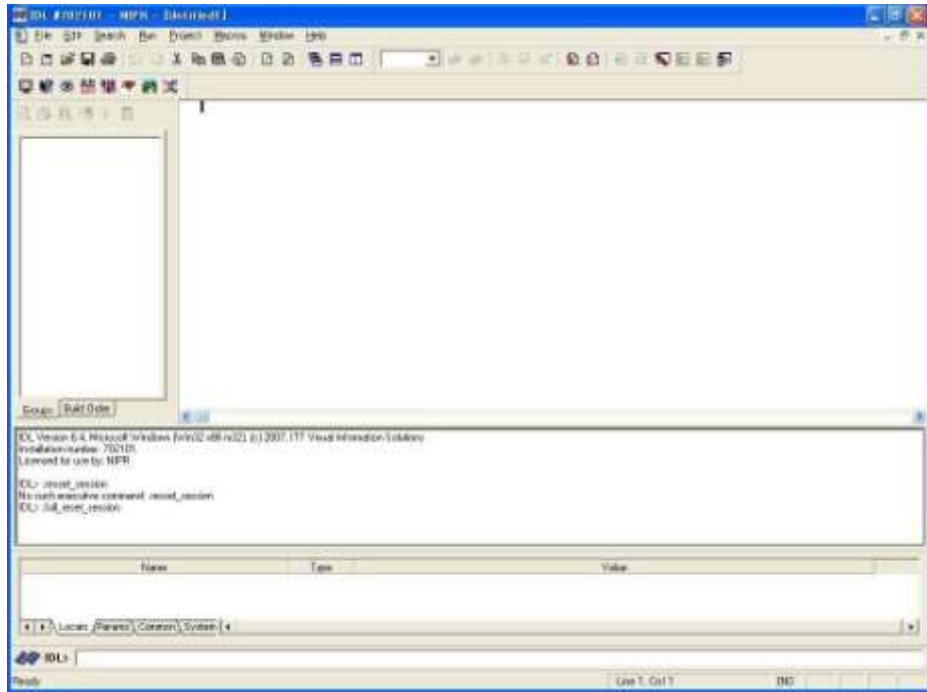


4.9 IDL コマンドラインで、.full_reset_session を実行。

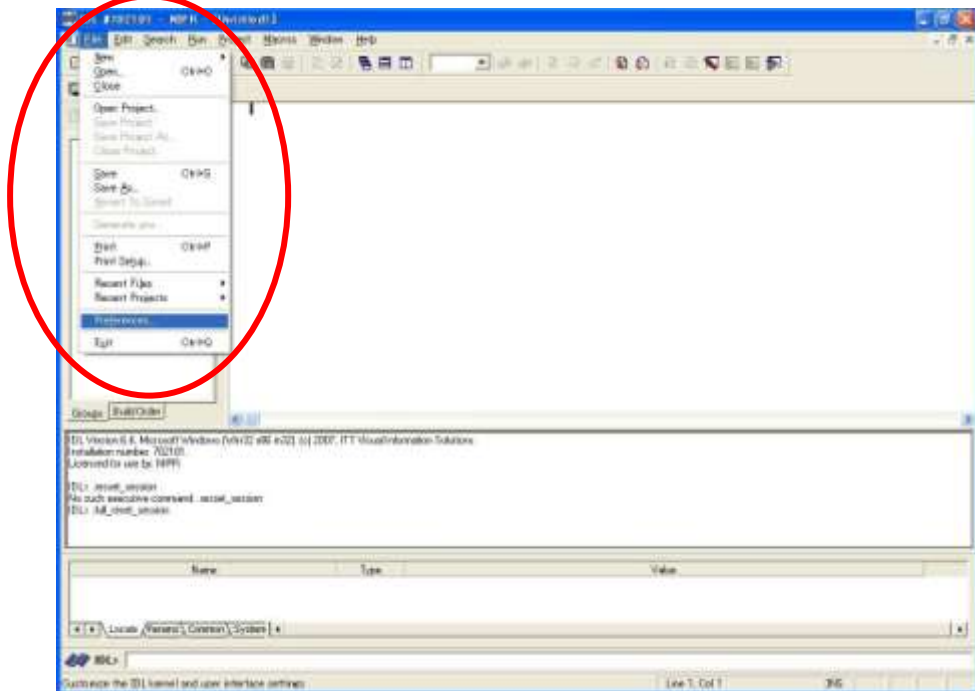


- IDLDE 6.4 以前のバージョン:

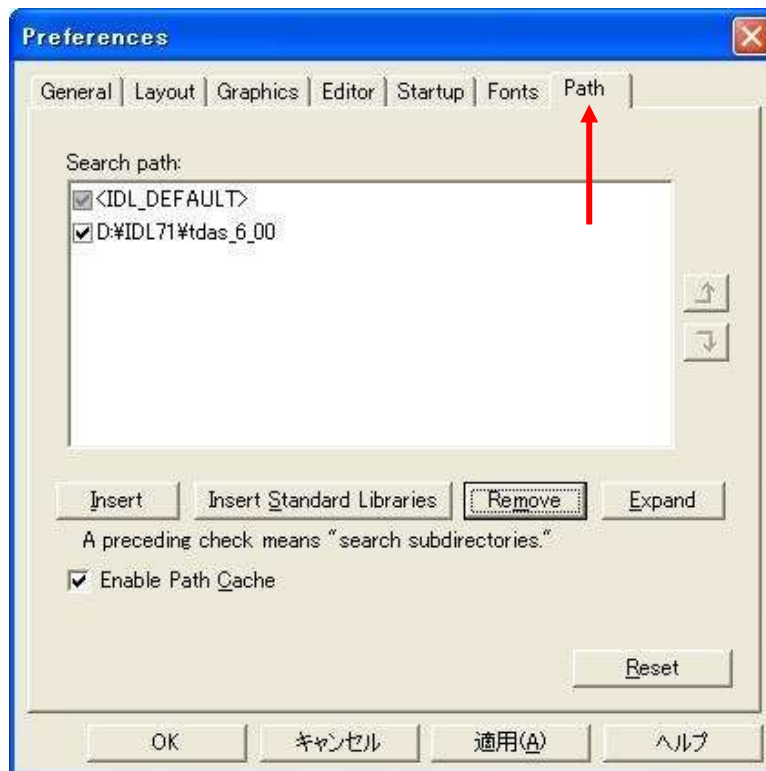
4.1 IDL を起動。



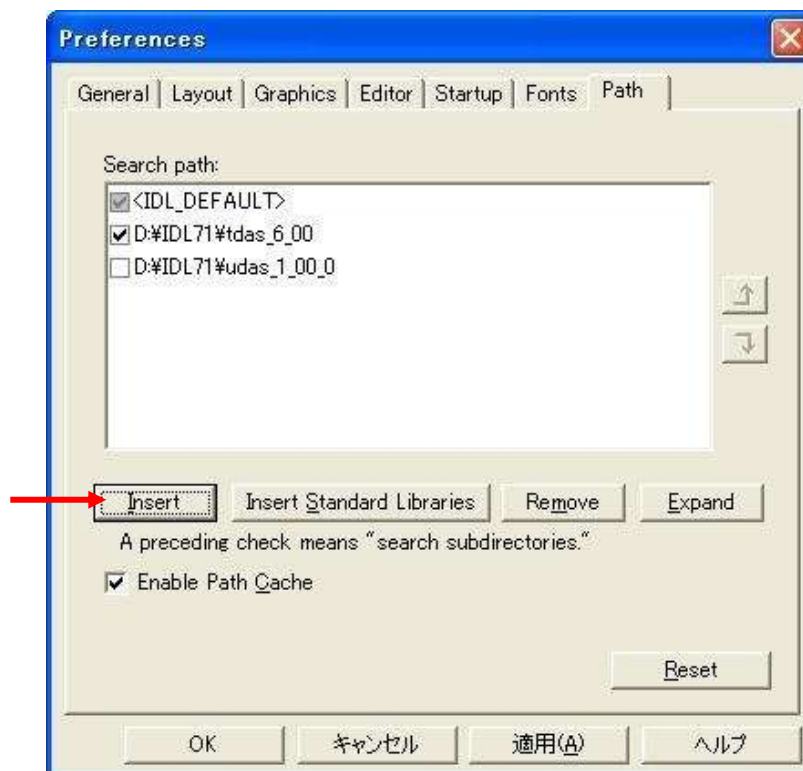
4.2 File メニューから Preferences を選択。



4.3 Path タブを選択。



4.4 Insert をクリック。



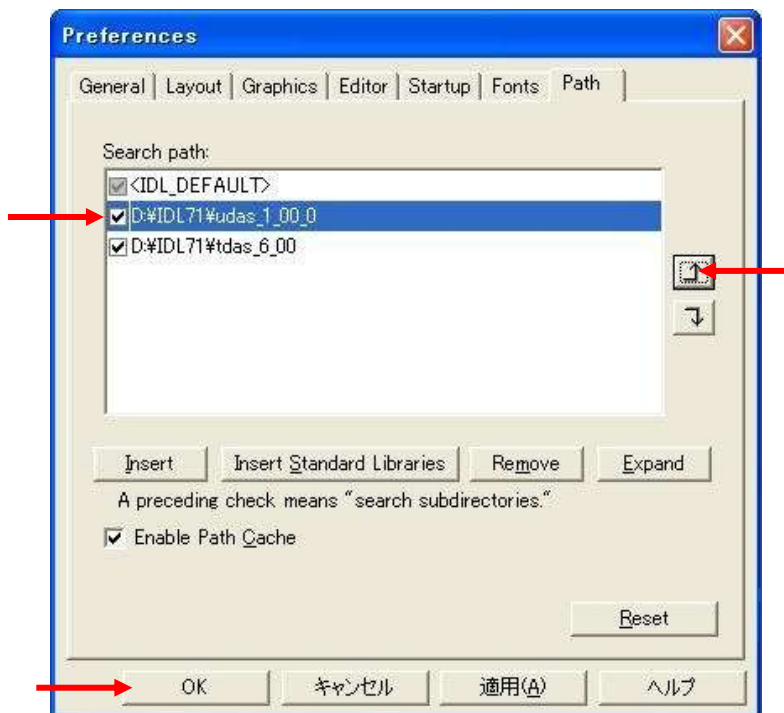
4.5 ダウンロードした UDAS ディレクトリを選択し、OK をクリック。



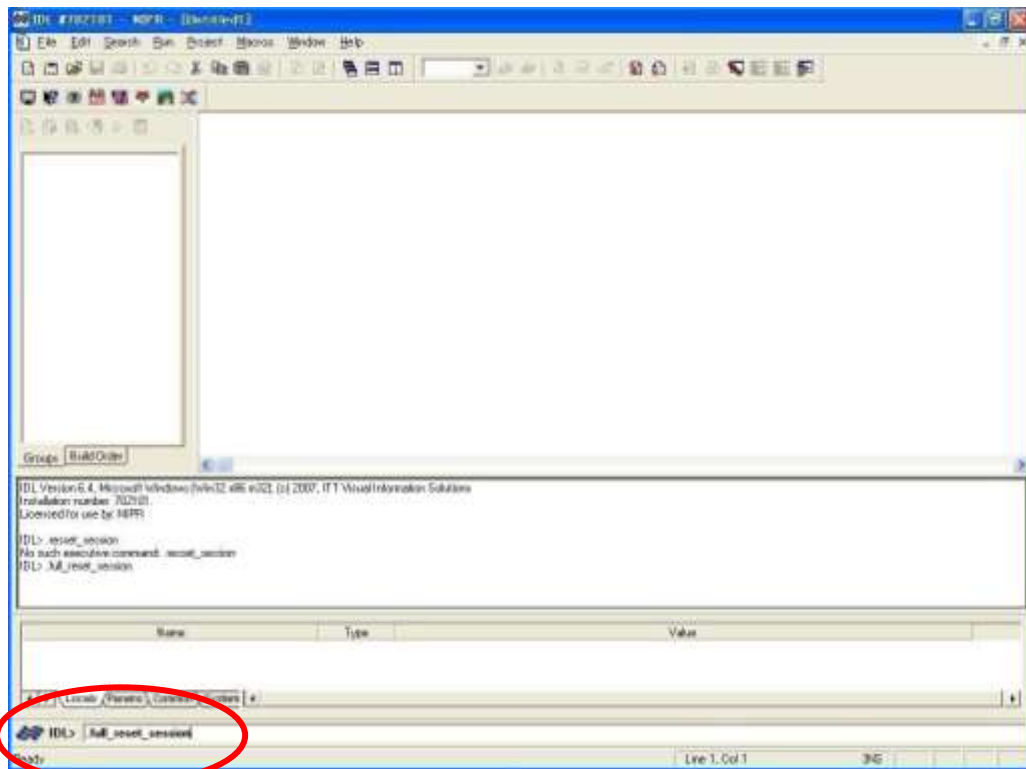
4.6 作成されたディレクトリの左にあるチェックボックスにチェックを入れる。

4.7 右側にある上向き矢印を押して、UDAS ディレクトリを TDAS ディレクトリの上に持っていく。

4.8 OK をクリック。



4.9 IDL コマンドラインで、.full_reset_session を実行。



[Unix/Linux/Mac]

<bash>

4.1 以下の 1 行を、.bashrc、または、.bash_profile に加える。

```
export IDL_PATH='<IDL_DEFAULT>:/path/to/udas:/path/to/tdas'
```

4.2 上記の/path/to/udas、/path/to/tdas を実際の UDAS、TDAS ディレクトリのパスに書き換える。

4.3 source .bashrc (.bash_profile) コマンドを実行し、環境変数 IDL_PATH を反映させる。

4.4 IDL を再起動する。

<csh/tcsh>

4.1 以下の 1 行を、.cshrc に加える。

```
setenv IDL_PATH '<IDL_DEFAULT>:/path/to/udas:/path/to/tdas'
```

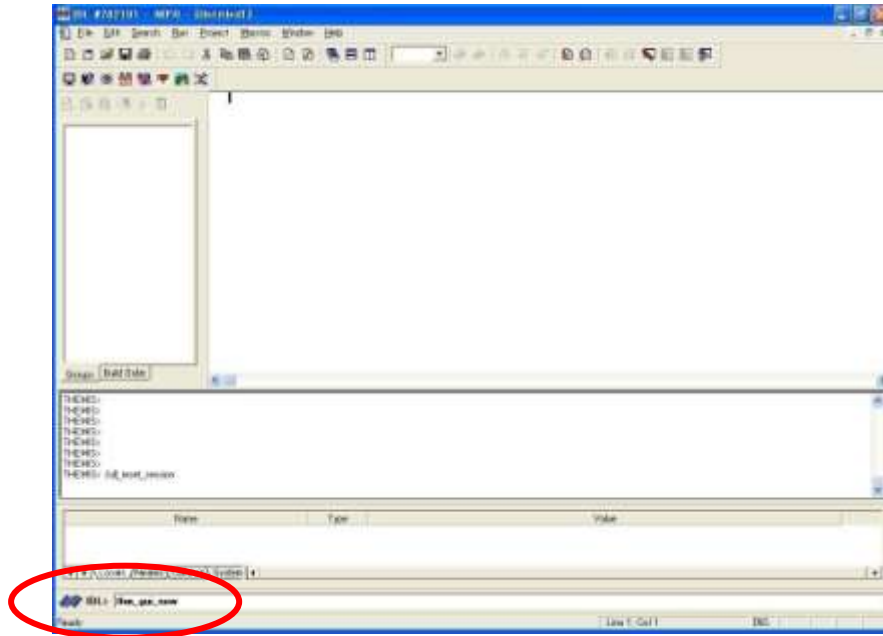
4.2 上記の/path/to/udas、/path/to/tdas を実際の UDAS、TDAS ディレクトリのパスに書き換える。

4.3 source .cshrc コマンドを実行し、環境変数 IDL_PATH を反映させる。

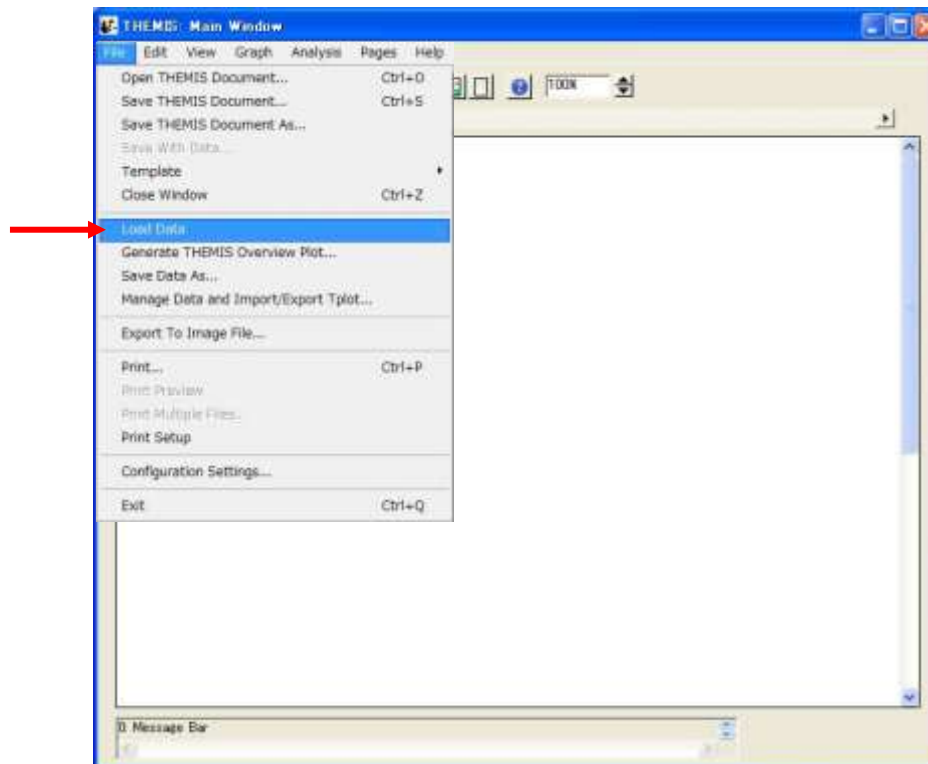
4.4 IDL を再起動する。

5. UDAS の GUI の動作確認

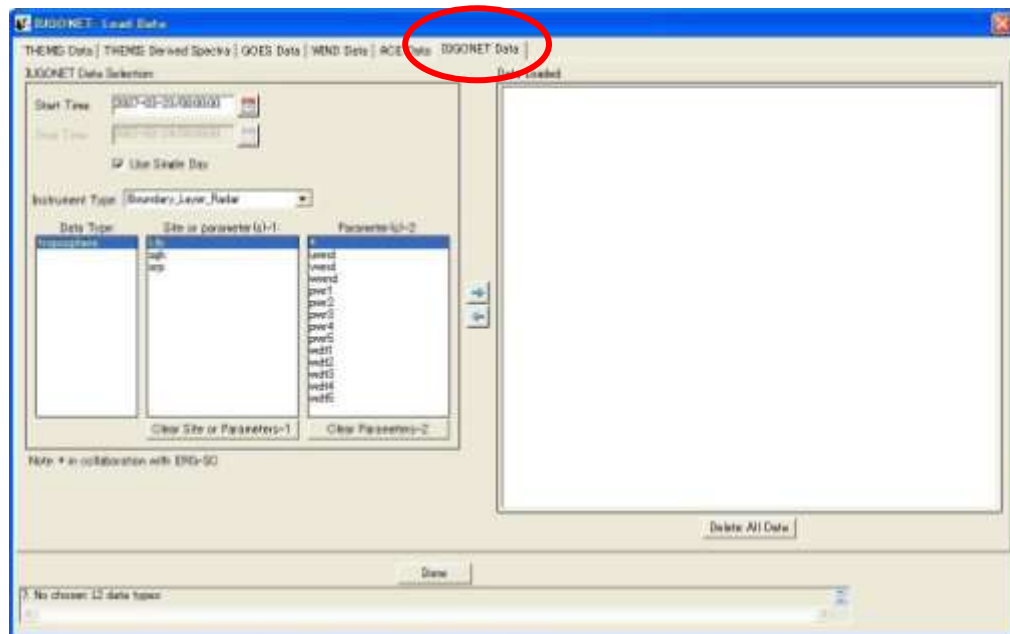
5.1 IDL コマンドラインで、thm_gui_new を実行する。



5.2 THEMIS の GUI ウィンドウが開く。File メニューから Load Data を選択。



5.3 IUGONET タブがあれば成功。



付録：TDAS のインストール

0.1 以下のサイトから、最新のファイルをダウンロードして好みの場所に展開する。

<http://themis.ssl.berkeley.edu/software.shtml>

“1. Download the latest release of the Software”の”Download”をクリックする。

※4/3 現在の最新バージョンは `tdas_6_00.zip`

0.2 IDL に TDAS のパスを通す。

[Windows]

- IDLDE 7.0/7.1:

0.2.1 スタート→すべてのプログラム→IDL7.1→IDL Workbench で IDL Workbench を起動。

0.2.2 Window→Preferences→IDL→Path→Insert→展開したディレクトリ (`tdas_x_xx`) を選択→選択したディレクトリが表示されるので左側のチェックボックスをチェック→OK

- IDLDE 6.4 以前のバージョン:

0.2.1 スタート→すべてのプログラム→IDL6.4→IDL で IDL を起動。

0.2.2 File→Preferences→Path→Insert→展開したディレクトリ (`tdas_x_xx`) を選択→選択したディレクトリが表示されるので左側のチェックボックスをチェック→OK

[Unix/Linux/Mac]

`tdas` ディレクトリのパスを `IDL_BASE_DIR` という環境変数に設定して、`source` コマンドを実行する。`tdas` を `/home/xxx/work/tdas_6_00` に展開した場合を、以下に示す。

<bash>

```
$ export IDL_BASE_DIR = /home/xxx/work/tdas_6_00
```

```
$ source /home/xxx/work/tdas_6_00/idl/themis/setup_themis_bash
```

<csh/tcsh>

```
% setenv IDL_BASE_DIR /home/xxx/work/tdas_6_00
```

```
% source /home/xxx/work/tdas_6_00/idl/themis/setup_themis
```

*** パスの確認 ***

IDL を起動し、thm_init コマンドを入力。以下のメッセージが出れば OK。

IDL> thm_init [enter]

THEMIS countdown: xxxxxx xxxxxx xxxx since launch

THEMIS> ←プロンプト

0.3 TDAS で、リモートデータサイトと THEMIS データの保存場所の設定をする。

0.3.1 IDL> thm_gui_new [enter]

0.3.2 File→Configuration Settings を選択。

0.3.3 Configuration Settings で、THEMIS を選択。

0.3.4 Local data directory, Remote data directory を好みの場所にする。(ここで、Local data directory はダウンロードされた THEMIS データが保存されるディレクトリ)

日本で使用する場合、Remote data directory は次のサイトに指定することを推奨している。

Remote data directory: <http://themis.stp.isas.jaxa.jp/data/themis/> (日本のミラーサイト)

Save→Close

TDAS についての詳細は、以下のサイトの Users' Guide を参照：

<http://themis.ssl.berkeley.edu/software.shtml>